

指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、令和6年12月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

1 指定概要

(1) 施設概要

名称：北九州市立交通安全センター

所在地：小倉北区井堀五丁目1番1号

施設内容：①施設概要 鉄筋コンクリート造2階建

②事業内容 交通安全に関する知識の普及及び交通安全思想の高揚を図ることを目的とする。

(2) 指定期間

令和7年4月1日～令和12年3月31日

(3) 指定管理者候補の概要

名称：特定非営利活動法人I-DO（アイ・ディオ）

所在地：福岡市博多区店屋町4-8

主な業務内容：①自転車利用促進による近距離交通の適正な発達と中心市街地の活性化を図る事業

②サイクル&ライドなど自転車利用による公共交通機関の利用促進を図る事業

③自転車駐輪場等、駐車場施設の整備推進による放置自転車の追放を図る事業 など

2 指定の経緯

令和6年 8月16日 募集要項配布

令和6年 9月24日 募集締め切り

令和6年10月 7日 指定管理者検討会の開催

令和6年10月 指定管理者候補を決定

(1) 応募資格

・法人、その他の団体であること。(個人による応募は不可)

- ・ 本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対応を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの。
 - ・ 申請意向届出書を提出していること。(共同事業体で応募する際は、代表団体が申請意向届出書を提出していること。)
- ※複数の団体により構成するグループによる応募について
- グループでの応募も可能。その場合は、応募時に共同事業体を結成し、代表団体を定め、上記の要件を、その代表団体に求める。
- なお、共同事業体の代表団体は、構成員中最も業務履行能力の大きい者とし、出資比率は構成員中最大でなければならないこととする。
- ・ 共同事業体を構成する場合は、競争性を確保した上で、本市経済の振興と地元団体の育成を図る観点から、可能な限り地元団体を構成員とするよう努め、最低1団体は地元団体とすること。

(2) 応募状況

説明会参加：1 団体
 応募件数：1 団体

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討しました。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定しました。

4 検討会構成員

- ・ [学 識 経 験 者] 寺町賢一 (九州工業大学大学院工学研究院教授)
- ・ [交 通 安 全 協 会] 生野 修 (小倉北交通安全協会専務理事)
- ・ [交通安全推進団体] 重國 香 (北九州市保育士会副会長)
- ・ [中小企業診断士] 大淵晶博 (福岡県中小企業診断士協会)

5 選定基準等

選定基準 (=審査項目) 及びポイント	
1	指定管理者としての適性
	(1) 施設の管理運営 (指定管理業務) に対する理念、基本方針
	① 応募団体が、市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営 (指定管理業務) に対する理念や基本方針を持っているか。
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
	① 長期間安定的な管理運営 (指定管理業務) を行っていくだけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
	(3) 実績や経験など

① 応募団体が同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。
② 応募団体が施設の管理運営（指定管理業務）に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。
③ 複数の団体が共同して一つの応募団体となっている場合、それぞれの責任分担等が明確になっているか。
2 管理運営計画の適確性
【有効性】
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
① 施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
③ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
(2) 利用者の満足度
① 利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。
③ 利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。
④ 利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。
【効率性】
(3) 指定管理料及び収入
① 指定管理業務に係る費用（指定管理料）が最小限に抑えられているか。
(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性
① 収支計画が妥当かつ、実現可能な提案であるか。
② 経費の配分は適切であるか。
③ 積算根拠は明確であるか。
④ 再委託が適切な水準で行われているか。
【適正性】
(5) 管理運営体制など
① 施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
② 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。
③ 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。
④ 職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。
⑤ 地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が十分に考えられているか。
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。
③ 日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。
④ 防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分考えられているか。
(7) 社会貢献・地域貢献
<社会貢献の視点>
① 高齢者や障害者等の雇用促進が考えられているか。

② 労働環境の向上への取り組みが考えられているか。
③ SDGsの達成や環境への配慮に関する取り組みが考えられているか。
<地域貢献の視点>
① 地域活動や地域交流などの取り組みが考えられているか。
② 地域団体や市内事業者などと連携した取り組みが考えられているか。
③ 市民の雇用拡大に資する配慮が考えられているか。

【評価レベル】

評価レベル	乗率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

6 審査結果

(1) 評価レベル及び得点

団体名	選定基準（=審査項目） 及びポイント	配点	評価レベル				検討会 審査結果	得点
			構成員					
			A	B	C	D		
特定非 営利活 動法人 I-00	1 指定管理者としての適性							
	(1) 施設の管理運営に対する理念、 基本方針	10	5	5	4	4	5	10
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	4	3	4	4	4	4
	(3) 実績や経験など	10	5	5	5	5	5	10
	2 管理運営計画の適確性							
	【有効性】							
	(1) 施設の設置目的の達成に向 けた取り組み	30	4	4	4	4	4	24
	(2) 利用者の満足度	10	4	4	4	4	4	8
	【効率性】							
	(3) 指定管理料及び収入	5	5	3	4	3	4	4
(4) 収支計画の妥当性及び実現 可能性	10	5	3	4	3	4	8	
【適正性】								
(5) 管理運営体制など	10	4	4	5	3	4	8	

(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	5	4	3	3	4	8
(7) 社会貢献・地域貢献	10	4	4	4	3	4	8
合 計	110	—	—	—	—	—	92
地域団体に対する優遇措置（準市内団体 3点加算）							95

(2) 検討会における主な意見

- ・これまでの実績は十分であり、運営に期待できる。
- ・施設の設置目的に適合した、管理運営に対する理念や基本方針を持っている。
- ・利用者の意見を反映し、情報提供も十分に考えられている。
- ・職員の資質、能力向上を図っており、地域住民や関係団体との連携等が図られている。
- ・自治会等の連携による地域貢献の取り組みが考えられている。
- ・財政基盤に関しては問題なく、収支計画は妥当である。

(3) 検討会における検討結果

- ・特定非営利活動法人 I - DO を指定管理者として適切と判断する。検討会における議論を十分に考慮し、最終決定を行うよう市に求めることとする。

7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、特定非営利活動法人 I - DO を指定管理者候補に選定しました。

(1) 選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

(2) 市における主な選定理由

- ・北九州市立交通安全センターの設置目的及び市の施策についてよく理解しており、また同施設の管理に関する意欲が強く感じられる。
- ・過去18年間、当施設を管理してきた実績に基づき、利用者ニーズを考慮した現実的かつ改善を見据えた計画を策定している。

8 提案額

30,542千円

北九州市立交通安全センター指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	特定非営利活動法人 I - DO										
1 指定管理者としての適性について	<p>○親子を対象とした交通ルールやマナーの普及を推進し、次世代の安全意識の向上を目指す。</p> <p>○高齢社会に対応した免許返納支援の機会提供や、電動キックボードなど新しい乗り物に対する安全講習を実施する。</p> <p>○自転車安全教育指導員等有資格者が12名在籍しており、交通安全教育の安定的な実施が可能である。</p>										
2 管理運営計画の適確性	<p>【有効性】に関する取組み</p> <p>○幼稚園や小学校等に指導員が出向き、講和や実地練習を通じた交通安全教育に注力する。</p> <p>○免許返納の取り組みとして高齢者運転シミュレーターを活用する。</p> <p>○ご意見箱の設置や定期的なアンケート実施を行う。</p> <p>○交通公園便りやウェブサイト、公式 SNS を活用し、定期的なイベントや雨天時の利用停止等について、密な情報発信を行う。</p>										
	<p>【効率性】に関する取組み</p> <p>○光熱費の削減に努める。</p> <p>○今後の人件費の高騰等を考慮し、予想される不足分を補填する策として自販機の設置を提案する。利用者のサービス向上に貢献するような自販機があれば、積極的に導入する。</p> <p>提案額</p> <table border="1" data-bbox="496 1323 994 1547"> <tr> <td>令和 7年</td> <td>30,542千円</td> </tr> <tr> <td>令和 8年</td> <td>30,542千円</td> </tr> <tr> <td>令和 9年</td> <td>30,542千円</td> </tr> <tr> <td>令和10年</td> <td>30,542千円</td> </tr> <tr> <td>令和11年</td> <td>30,542千円</td> </tr> </table>	令和 7年	30,542千円	令和 8年	30,542千円	令和 9年	30,542千円	令和10年	30,542千円	令和11年	30,542千円
	令和 7年	30,542千円									
令和 8年	30,542千円										
令和 9年	30,542千円										
令和10年	30,542千円										
令和11年	30,542千円										
<p>【適正性】に関する取組み</p> <p>○園長以下13名体制で管理運営を行い、隔月に行う「社員研修会」により、職員の資質・能力の向上に努める。</p> <p>○施設利用について、子ども以外の利用者(大人や障害者等)にも平等にサポートする体制を整えている。</p> <p>○利用者が多い土・日・祝日には、要所に指導員を配置し事故防止・熱中症対策に努める。</p> <p>○運転免許の自主返納促進のため、市民センター等の協力を仰ぎ運転シミュレーターを使った啓発活動を実施する。</p>											

北九州市立交通安全センター 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月7日(月) 9:00~11:00
- 2 場 所 北九州市役所 特別会議室(プレゼンテーションルーム)
- 3 出席者 (検討会構成員) 大淵構成員、重國構成員、生野構成員、
寺町構成員
(事務局) 総務市民局 安全・安心推進課 都市整備担当課長、
都市整備係長、担当職員
- 4 会議内容
 - 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明。
 - 構成員の互選により、座長を選出
 - 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
 - 応募団体より提案概要に関してヒアリング
 - (構成員) 外国人指導は学校等に出向くことが多いか。
 - (応募団体) 来園が多いが、要望があれば出向くこともある。
 - (構成員) 個人情報の取り扱いについて、技術的、組織的な対策を徹底するとは具体的に何か。
 - (応募団体) 保管場所に鍵をかけ、書類はしかるべき業者に依頼し廃棄する。
 - (構成員) 現在は公園の受付で名前と居住区を書いているが必要か。
 - (応募団体) 名前の記載は現在検討中。居住区は利用者の状況把握のため必要と考えている。
 - (構成員) 満足度調査のアンケート調査数はどのように決めたか。また、独自のニーズ調査とは何か。
 - (応募団体) アンケート調査数は市の調査方法に基づいている。それとは別に、独自のニーズ調査のアンケートを考えている。
 - (構成員) SNSのフォロー数が少ないが対策を考えているか。
 - (応募団体) コロナ禍まではユーチューブだったが、現在のメインはInstagramにしている。HP業者に相談しているが、フォロー数の対策までは手が回っていない状況。
 - (構成員) 公園内に売店があるが、収入に計上しないのか。
 - (応募団体) 売店は県の管轄となるので計上していない。
 - (構成員) 電動キックボードは所有しているか。
 - (応募団体) 市が購入しセンターに置いている。主に大人が対象の講習に利用

している。利用者はかなり多い。

(構成員) これからは高齢者に来園してもらい、シミュレーターの活用を増やしていく必要があると思うが周知はどう考えているか。

(応募団体) 自治会長を通じての周知が確実と考えている。市政だよりへの掲載も行う。市からの要請もあるので、これから増やしていきたい。

(構成員) 高齢者がインターネットを検索してヒットしやすいコンテンツを増やすのも有効。

(構成員) 自転車事故の傾向として、年齢が上がれば死亡者数も増えている。中高生になると公園に行くこともないと思うが、啓蒙はどう考えているか。

(応募団体) 小学生で正しい乗り方を教えて中高生になっても継続するのが理想的だが、難しいとも考えている。警察と協議しながら増やす方向で考えていきたい。しかし、講習の申し込みは幼稚園、小学生がとても多く、積極的な中学校等への働きかけはできていない。

(構成員) 中学校等への働きかけは市が行うのか。

(事務局) 市が行うものだと考える。

(構成員) 利用者の意見を反映した事例はあるか。

(応募団体) 虫が多いとの意見に対して、除草を実施し、虫よけスプレーを受付に置いたら、お礼の声があった。授乳室も市に依頼して設けた。

(構成員) ヘルメット、肘あてを販売してはどうか。

(応募団体) 今後市と協議して考えていきたい。

(構成員) 雨の日の自転車事故も多いと思うが、雨の日の講習は考えているか。

(応募団体) 路面が滑るので、雨の日は自転車の貸し出しを中止している。雨が上がったら、路面の水を事務員が掻き出して、早く貸出できるようにしている。雨の日の講習は考えていなかったので検討してみたい。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換

(構成員) 改善していくべき点は今後の取り組みを確認していくことが必要。

(構成員) 実績があるので問題ないかと思われる。需要に対する人的配置が課題。収入の細部が分からなかった。

(構成員) 実績があるので大丈夫と感じる。収支の部分が分からなかった。指定管理料の面で物価高への対応が大丈夫かと考えている。

(構成員) 収入の中身が分からない部分がある。管理運営の面で、防災と防犯が同じ扱いでよいのかと感じた。

○ 審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

○ 審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえ

で、検討会としての評価レベルを決定

- 審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議
- 検討会としての検討結果
 - ・ 特定非営利活動法人 I - DO を指定管理者として適切と判断する。
〔付帯意見〕
 - ・ SNS 等を活用し、中学、高校、企業への広報をしっかりと行い、実施後の確認が必要。
- 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。